

# 1 この科目の構成について

教科	情報	科目	メディア基礎	単位	3	単位
対象コース	総合コース (情報クラス)	コース	対象クラス	2 年	7 組	
使用教科書	全商情報処理検定模擬問題集2級・3級（実教出版）					
使用副教材	・全商情報処理検定問題集（2級・3級） ・日本情報処理検定問題集（2級・3級）					

# 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

**学習目標：**この科目を学習して何を身につけてほしいのか

情報処理では、情報処理の専門的な知識と技能について、データベースソフトウェア・表計算ソフトウェアを通して、1年次で学習した知識以上に理解を深めて下さい。また、情報発信の方法とその問題点について理解を深め、情報化が及ぼす影響について考えて下さい。

**学習内容：**この科目で学習する大まかな内容

（1）表計算技能

日検情報処理検定・全商情報処理検定の問題を題材とし、表計算ソフトを使った表計算の技能について学習する。

（2）ホームページ作成および、活用方法について

普段見慣れているホームページを自分たちで、一から作成していく。ホームページ技能を習得したのち、仮想企業を設立してもらい自分たちが考案した商品の紹介ページを自作していくことで、「ホームページを作る技術」「顧客目線でのホームページの意義」これらのことを中心に学習していく。

（1）学校

実技は、教師の説明・指示を良く理解し、授業に集中して取り組む必要がある。

授業中は、教師の説明を聞き逃さないよう集中し、良く理解すること。私語は大迷惑。

（2）家庭

全商情報処理検定（1級・2級）の筆記対策をしっかりと行うこと。

検定対策＝定期考査に向けての勉強となります。

実技については、家庭にパソコンがない場合も想定されるので、その場合は学校で1日30分でもいいので実技の練習を行うとよい

# 3 この科目の評価方法について

**評価方法：**何を使って評価するのか

(1) 定期考査→メディア基礎第2回・第4回考査に組み入れて行います。

(2) 授業中での課題作成→授業中に課題を提示します。（ファイルを提出、印刷して提出など）

評価における定期考査の割合

30 %

# 4 この科目の評価の観点について

**評価の観点：**この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

（1）関心・意欲・態度

課題や作業への取り組みが積極的であり、授業内容を進んで理解しようとしたかを見ます。また、課題の提出状況と内容も見ます。

（2）思考・判断

課題に対しどのソフトを使うか、どうやって行うかを見ます。また、トラブル時の対処方法について見ます。

（3）技能・表現

課題の意味を理解し、その内容をどのように表現していくかを見ます。

（4）知識・理解

小テスト、定期考査、課題の完成度、表現方法を見ます。

## 5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	○コンピュータ室の利用について ・ログイン・ログアウトについて ※毎授業時に、10分計測を行いタイピングを実施	・配付されたIDとパスワードが個人情報であることを学ぶ。 正確なホームポジションで入力することを身に付け、正しいタッチメソッドの修得を目指す。	●			●	
		○日本情報処理検定(表計算)3級について(4月中旬～6月中旬)	○基本的なExcelの操作や関数の使用方法など基礎・基本を徹底させる。  ○情報処理検定3級の内容を行う。	●		●	●	
2	7	・確認テストを実施 第2回考査 ○検定試験	定期的に、検定合格に向けての小テストを実施する。  日本情報処理検定(情報処理)3級受検	●	●		●	
		○日本情報処理検定(データベース)3級について(7月上旬～10月上旬)	○基本的なExcelの操作や関数の使用方法など基礎・基本を徹底させる。  ○情報処理検定3級の内容を行う。	●		●	●	
		○検定試験	定期的に、検定合格に向けての小テストを実施する。	●		●	●	
	9	○全商情報処理検定(3級)の学習(10月上旬～1月下旬)	定期的に、検定合格に向けて小テストを実施する。			●	●	
3	10	○日本情報処理検定(情報処理)2級の学習(10月上旬～12月上旬)  ・確認テストを実施 第4回考査	日本情報処理検定(情報処理)  全商情報処理検定	●	●		●	
	11	全商情報処理検定(2級)の学習 ○検定試験		●	●		●	
	12	○検定試験	ホームページを作成するうえで必要になってくるHTMLについて学習する。			●	●	
	1	ホームページ作成	二人一組でグループを作り、仮想企業を作ってもらいます。そこで、一つのテーマを決め、それを紹介するホームページを作成する。実際に製作していく段階では、インターネット教材(3年生で使用する)を使いながら、学習を進めていく。	●		●	●	
	2		完成したホームページを生徒同士で評価していく。	●		●	●	
	3	完成披露会		●	●			



## 1 この科目の構成について

教科	情報	科目	情報処理	単位	2	単位
対象コース	総合コース (情報クラス)	コース	対象クラス	2 年	7 組	
使用教科書	なし					
使用副教材	全商ビジネス計算実務検定試験問題集 2級・3級 全商 情報処理検定試験 2・3級					

## 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

コンピュータにおける情報の表し方や処理の仕組み、情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解させ、問題解決においてコンピュータを効果的に活用するための科学的な考え方や方法を習得させる。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

①情報処理の工夫

全商情報処理検定の実際の問題を参考にしつつ、表計算ソフトのスキル習得を目的としつつ、表計算ソフトを工夫し、みやすい表現方法の習得を目指す。

②電卓技能の習得

社会にでて、簿記と同じくらい重要になってくる電卓技能のスキル習得を実際の問題を参考にしながら学習を目指す。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

実技は、教師の説明・指示を良く理解し、授業に集中して取り組む必要がある。

授業中は、教師の説明を聞き逃さないよう集中し、良く理解すること。私語は大迷惑。

(2) 家庭

パソコン実機を使った練習などについては、放課後などを用いて練習してください。

電卓を使った練習については、毎日自宅で反復練習を欠かさないようにしましょう。

1日の遅れは一週間の遅れに相当します。

## 3 この科目の評価方法について

評価方法：何を使って評価するのか

①定期考査：第2回考査、第4回考査を行う。

②日々の授業中の課題提出：授業中に課題を提示する。

③授業中の態度など

⑤各種検定での成績

評価における定期考査の割合

30 %

## 4 この科目の評価の観点について

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) 関心・意欲・態度

課題や作業への取り組みが積極的であり、授業内容を進んで理解しようとしたかを見ます。課題の

(2) 思考・判断

課題に対しどのソフトを使うか、どうやって行うかを見ます。また、トラブル時の対処方法について見ます。

(3) 技能・表現

課題の意味を理解した内容をどのように表現していくかを見ます。

(4) 知識・理解

小テスト、定期考査、課題の完成度、表現方法を見ます。

## 5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度の復習</li> <li>電卓検定に向けて（6月下旬まで）</li> </ul> 	前年度、実施した検定についての復習を行う（電卓検定 中心）  3級の復習を行いながら、2級の実際の問題を参考にしながら2級の学習をする  一か月間隔で、知識定着具合を小テストを実施しながら、進める			●	●	
		●検定試験（6月下旬）	全商珠算・電卓実務検定試験受験					
	7	第2回考査						
2	8	前年度の復習  	前年度学習した、Excelの基本知識の再確認を行う。 定着具合をみながら、実力に適した検定の内容を参考にしながら学習する			●	●	
	9	●検定試験（9月下旬）	全商情報処理検定試験 受験					
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>電卓検定に向けて②</li> </ul>	1学期に学習したことを復習しつつ上級（1級）の検定内容について実際の問題を参考にしながら、学習する  一か月間隔で、知識定着具合を小テストを実施しながら、進める	●			●	
	11	●検定試験（11月上旬）  表計算スキル応用  	全商珠算・電卓実務検定試験受験  情報処理検定1級の実際の問題を参考にしながら、解説をしていく。			●	●	
	12	第4回考査		●	●	●	●	
	1	●検定試験（1月下旬）	全商情報処理検定試験 受験			●	●	
	2	ホームページ作成  	二人一組でペアを組み、ホームページの作成を体験する。 基本的なコードから応用的なコードまで幅広く学習する。学習した知識を用いてホームページを作成する	●		●	●	
	3	完成披露会  1年間を振り返って	完成したホームページを生徒同士で相互評価をする。	●	●			

# 1 この科目の構成について

教科	商業	科目	簿記	単位	4	単位
対象コース	総合コース (情報クラス)	コース	対象クラス	2 年	7 組	
使用教科書	実教出版 新簿記 新訂版					
使用副教材	実教出版 反復式 学習と検定 簿記問題集 全商3級					

# 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

<p><b>学習目標：</b>この科目を学習して何を身につけてほしいのか</p> <p>商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。</p>
<p><b>学習内容：</b>この科目で学習する大まかな内容</p> <p>簿記に関する知識と技術を習得させ、その基本的な仕組みについて理解させるとともに、適正な会計処理を行う能力と態度を育てる。</p>
<p><b>学習方法：</b>この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか</p> <p>(1) 学校 帳簿記入などの実技は、教師の説明・指示を良く理解し、授業に集中して取り組む必要がある。授業中は、教師の説明を聞き逃さないよう集中し、良く理解すること。</p> <p>(2) 家庭  全国商業高等学校協会主催 簿記検定 3 級 検定試験・考査の範囲については、家庭での予習・復習が必要である</p>

# 3 この科目の評価方法について

<p><b>評価の観点：</b>何を使って評価するのか</p> <p>(1) 知識・技能 個人企業における簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得をめざして意欲的に取り組むとともに、企業において日常発生する取引について適正な会計処理を行う実践的な態度を身につけてい</p> <p>(2) 思考・判断・表現 いろいろな処理法や記帳法について、なぜ、そのように行うのかなど自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。</p> <p>(3) 主体的に学習に取り組む態度 個人企業における簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得をめざして意欲的に取り組むとともに、企業において日常発生する取引について適正な会計処理を行う実践的な態度を身につけている。</p>
---

## 4 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	第1編 簿記の基礎 簿記に関する基本的な知識や、一連の帳簿記入の体系を理解する。	第1章 簿記の基礎	●	●	●	
			第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表	●	●	●	
			第3章 収益・費用と損益計算書	●	●	●	
			第4章 取引と勘定	●	●	●	
	5		第5章 仕訳と転記	●	●	●	
			第6章 仕訳帳と総勘定元帳	●	●	●	
	6		第7章 試算表	●	●	●	
			第8章 精算表	●	●	●	
	7		第9章 決 算	●	●	●	
2	8	第2編 取引の記帳 企業の経営活動によって発生するさまざまな取引について、基本的な記帳方法や勘定科目の明細を示す帳簿について理解する。	第10章 現金・預金などの取引	●	●	●	
	9		第11章 商品売買の取引	●	●	●	
			第12章 掛け取引	●	●	●	
	10		第13章 手形の取引	●	●	●	
			第14章 その他の債権・債務の取引	●	●	●	
3		第3編 決 算（その1） 決算にさいして必要な修正（決算整理）と、報告書類としての損益計算書貸借対照表の作成について理解する。	第15章 固定資産の取引	●	●	●	
	11		第16章 個人企業の資本金の取引	●	●	●	
			第17章 販売費及び一般管理費と税金の取引	●	●	●	
	12		第18章 決算整理（その1）	●	●	●	
			第19章 8桁精算表	●	●	●	
			第20章 帳簿決算	●	●	●	
	1		第21章 会計帳簿	●	●	●	
		第4編 会計帳簿と帳簿組織	第22章 伝票の利用	●	●	●	
			第23章 会計ソフトウェアの活用	●	●	●	